

テーマ：観光（実践校）

## 渡島管内 知内町立知内小学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間において、地域の人材バンクを活用した体験学習や姉妹都市である青森県今別町の学校と産業や文化の共通点や相違点について交流する活動を通して、地域の魅力について探究的に学習しました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

自分たちの地域の魅力を姉妹都市の学校や地域の人たちに発信するために、「知内の魅力を伝えよう」という探究的な課題を設定しました。

##### (2) 情報の収集

地域の海、川、山をテーマに、漁師、サケふ化場職員、農家、猟師にインタビューしたり、ニラ農家の出荷の様子を見学したり、サケ漁を体験したりする活動を通して、情報を収集しました。

##### (3) 整理・分析

収集した情報を基にして、プレゼンテーションソフトを活用して、知内町の魅力を紹介する資料を作成しました。

##### (4) まとめ・表現

姉妹都市の学校と Web 会議システムを活用して町の魅力を伝え合う活動を行い、産業や文化の共通点や相違点について知ることを通して、互いの地域の魅力について、理解を深めました。

また、学習発表会において、他の学年の児童や保護者、地域の方々に、学習を通して学んだ地域の魅力を発信しました。

#### ②児童の感想等

- ・知内町のニラが、たくさんの町に出荷されていることを知り驚きました。
- ・他の町の人と学習したことを通して、自分の町のよさに気付きました。もっと知内町のことを知りたいと思いました。
- ・知内町で働いている人たちは、みんな自分の仕事が大好きで、やりがいをもっていると思いました。



【姉妹都市の学校との交流の様子】



【漁師へのインタビューの様子】



【サケ漁体験の様子】

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- 地域の産業に関わる方にインタビューをする活動を実施したり、姉妹都市の学校と交流活動を行ったことにより、観光に関する児童アンケートで、「自分の住んでいる地域の観光や産業についてもっと調べたいと思う」と回答した児童の割合が 86%から 93%に、「北海道や自分の住んでいる地域は好き」と回答した児童の割合が 93%から 100%に増加するなど、自分たちが住んでいる地域への興味・関心が高まるとともに、郷土に対する愛着や誇りを育むことができました。
- 地域の魅力について考えを深める探究的な学習活動がより一層充実するよう、地域の教育資源の活用を拡充するとともに、第3学年から第6学年までのつながりを明確にしなが、教科等横断的な視点で教育課程を見直す必要があります。